

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月27日

【評価実施概要】

事業所番号	2970700205
法人名	社会福祉法人 三寿福祉会
事業所名	グループホーム友徳苑
所在地	637-0014 奈良県五條市住川町1426番地 (電話) 0747-26-1919
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年10月24日

【情報提供票より】(20年10月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 10 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	16.12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	32,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月6日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森岡医院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

金剛山麓の見晴らしの良い高台にあり自然環境に恵まれ、敷地内に在宅複合型施設友徳苑、グループホーム友楽苑があり研修会などで交流されています。建物の内部は木材が多く使われゆったりとした空間の中で利用者の方は穏やかに過ごされています。職員と利用者はお互いに学び支え合いの信頼関係にあることが利用者の表情や言葉から読み取れます。また、入浴も同性介助で対応する等プライバシーに配慮し、一人ひとりの生活リズムに合わせた支援をされています。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	近隣地域への積極的な広報活動、外出支援、自己決定や希望の表出への支援などの改善課題をセクション会議で検討され、外出支援なども日課として散歩されるように支援されたり、自己決定も話をじっくり聞き事により、利用者の思いが把握できるように努められています。広報活動も便りを発行されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価に対する目的や意義を正しく理解されて、全職員で自己評価に取り組まれています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議は開催されていませんが、利用者、家族、地域住民、民生委員、包括支援センターや行政の職員等幅広い立場の人が参加し、外部の目を通してグループホームの取り組みや具体的な改善課題を話し合う等地域に開かれたサービスとなるよう運営推進会議を開催される事を望みます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族等が訪問された時には意見や希望、苦情を言い出しやすいよう配慮し職員が問いかけをされています。また、玄関に意見箱を設置し、問題や課題があればスタッフ会議で取り上げ問題解決に取り組む仕組みができています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	近隣に住宅が無く日常的な付き合いがされていません。学校、老人会、幼稚園、などの催し者に参加されたり、災害訓練なども住人に声をかける等交流する機会を作られる事を望みます。利用者も地域住人の一員として、地域活動に参加されるよう働きかけを期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個性の尊重を基本に、家庭的で「ゆったりとした時間」「一人ひとりの生活リズム」「ごく普通の生活」を大切に考えとした理念が掲げられています。		ホーム独自の理念が掲げられていますが、地域密着型サービスとして「地域の中でその人らしく生活することを支えるケア」を具体的なイメージをもって理念を作り上げられる事を期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	セクション会議や研修会で理念を取り上げ話し合わせ実践での確認が行われています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	買い物で外出した際には地域の人とのふれあいはありますが、地域の自治会に加入されていない為、自治会の行事に参加される事も無く、地元との交流は希薄に感じられます。		周辺に民家が無く立地上の問題で交流する機会が少ないことから、地域や、学校保育園などの行事に積極的に参加したり、リサイクル活動などにも協力するなど地域で必要とされる活動や、役割を担っていけるよう取り組まれることを望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は職員全員で取組まれ、サービスの質の向上に活かそうと努力されています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は開催されていません。		利用者、家族、地域住民、民生委員、包括支援センターや行政の職員等幅広い立場の人が参加し、外部の目を通してグループホームの取り組みや具体的な改善課題を話し合う等地域に開かれたサービスとなるよう運営推進会議を開催される事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者との接触は少ないように感じます。		行政の担当者とはホームから出向き常に連絡を取り合い、行政の情報をキャッチすると共に、施設側も情報を提供し、サービスの向上に努められる事を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年に4回ホーム便りを発行する他、月に1回手紙で日々の様子を家族等に報告されています。また、同時に金銭管理の報告もされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が訪問された時には意見や希望、苦情を言い出しやすいよう配慮し職員が問いかけをされています。また、玄関に意見箱を設置し、問題や課題があればスタッフ会議で取り上げ問題解決に取り組む仕組みができています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージに配慮し、出来る限り職員を固定し支援されています。職員がやむなく代わる時は、引継ぎの期間を十分にとり、不安を軽減する取り組みをされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は年間のテーマを決め研修会を開催し、全職員が参加されています。また、法人外研修に参加できない職員には資料を配布し研修内容を共有できるようにする等、前向きに職員の質の向上に取り組まれています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホームとの交流はありますが他のホームとの交流はされていません。		他のグループホームへ見学に行ったり、また、見学に来てもらったり、合同で研修会を開催するなど交流する機会を少しでも多くもたれるような取り組みを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人、家族が見学され、遊びに来られたり、職員が自宅を訪問し、顔馴染みになるなどして、安心感を持ってもらうよう利用者の視点に立ち、徐々に馴染みながら利用できるよう柔軟に支援されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活歴から得意分野を見つけ、料理や洗濯物のたたみ方、料理等を教えて貰う事も多く職員はそのことに喜びを感じられています。利用者の若い時の話に耳を傾けたり、懐かしい歌と一緒に歌う等共に学び支えあう関係が築かれています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で利用者の言葉、表情や行動から汲み取り把握されています。また、家族などからも情報提供受けられています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画の作成にあたっては、ケース担当者が中心となりケアカンファレンスを開催し利用者へ接する職員全員で考えて利用者一人ひとりに合わせた計画を作成されています。家族や利用者の思いを反映させた計画となるようにさりげなく話を聞きだせるよう取り組まれています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度見直しをされていますが状態が変化した際には、終了前であってもその都度必要関係者と話し合い、検討し見直しされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や送迎には柔軟に対応し支援されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度協力医療機関の往診があり、また、歯科についても往診できる体制になっています。かかりつけ医の定期受診の支援もされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では本人、家族、かかりつけ医、職員を交えての話し合いまでには至っていませんが、将来的には重度化や終末期の方針をホーム全体で共有し、方針の統一に向けて取り組むよう考えられています。		利用者や家族が安心してサービスを利用できるようホーム全体で話し合い、方針の統一が実現されることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は一人ひとりの状態を把握し言葉かけや行動に注意を払い支援されています。また、研修会では個人情報の取り扱いについて徹底が図られています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れは設定されていますが利用者のペースやリズムを優先した支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者には出来る範囲で食事の準備、配膳、食後は食器の入ったトレーを台所まで運ぶ等されています。職員も一緒にテーブルで同じものを食べながら会話が弾んでいます。微笑ましい食事風景で、食事を楽しむ支援をされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴される方、夜に入られる方など本人の希望を優先し、また、同性介助により安心して入浴が楽しめるよう支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴を活かしながら職員の見守りの中で、洗濯、掃除など家事一般を支援されています。また、ボーリングや音楽療法など楽しみごと、お買い物などの支援もされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は毎日の日課とされ天気の良い日にはベンチで日向ぼっこをしたり、草引き等戸外に出る機会を多くもたれるよう支援されています。		近くの散歩だけではなく買い物や外食、ドライブなど外出する機会を多く持たれ地域住民とのふれあいを大切にされる事を期待します。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されておらず、家族や訪問者は自由に入出入りされています。職員はさりげなく見守り、鍵をかけないケアに取り組まれています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、日中、夜間時の地震や火災についての防災訓練を実施されている他、災害に備え食料・飲料水等の物品の準備もされています。		防災訓練を地域住民や自治会、などにも呼びかけ、消防署の指導の下に合同訓練など取り組まれることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事や水分の摂取状況をチェック表に記録し職員が共有されています。併設施設の栄養士に献立管理をしてもらうようにされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分は明るく、広々として癒しも感じられる場所となっています。玄関は和風で居間には長方形の掘炬燵、食堂はガラス障子で和風に統一されています。廊下は木製で幅も広くゆったりとした空間を作り出し、ホーム全体が落ち着いた雰囲気居心地の良いよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人が使い慣れた家具や家族の写真、テレビなどが置かれその人らしく過ごせる部屋となっています。		